



防災・減災、国土強靱化のための 5か年加速化対策

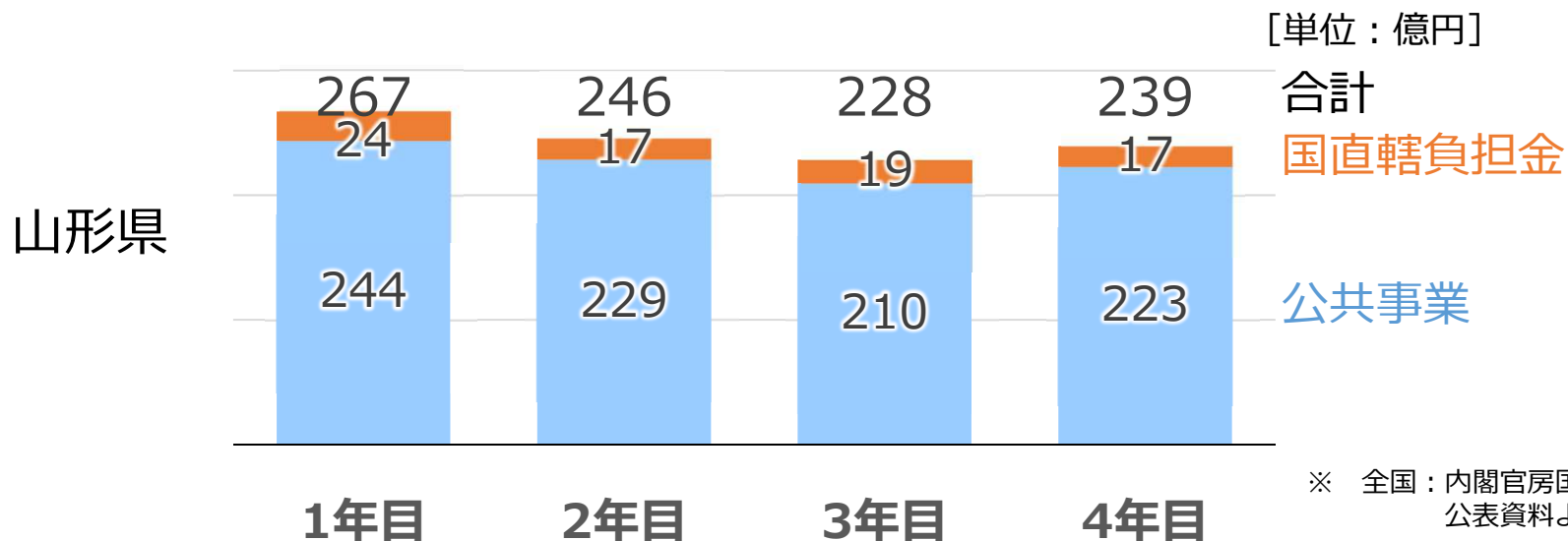
～取組状況とその効果～

山形県県土整備部

予算配分の状況

山形県では、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算を活用し、県土強靱化の取組みを進めています。

		1年目	2年目	3年目	4年目	累計	事業規模の 目途
		令和2年度 第3次補正	令和3年度 補正	令和4年度 第2次補正	令和5年度 補正		
全国		約4.16兆円	約3.02兆円	約2.70兆円	約2.36兆円	約11.8兆円	おおむね 15兆円
山形県	公共事業	約244億円	約229億円	約210億円	約223億円	約905億円	
	国直轄負担金	約24億円	約17億円	約19億円	約17億円	約76億円	
	合計	約267億円	約246億円	約228億円	約239億円	約981億円	



※ 全国：内閣官房国土強靱化推進室
公表資料より作成

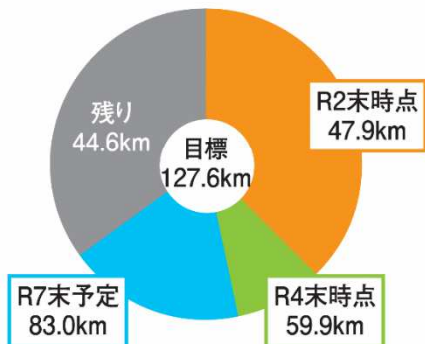
進捗状況

(令和5年3月末時点)

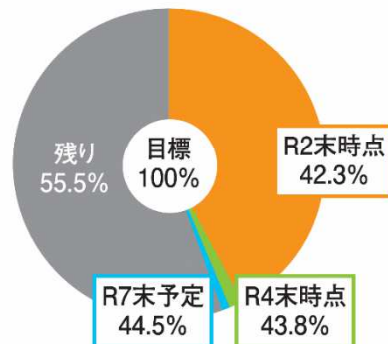
山形県の県土強靱化の進捗状況は以下のとおりです。
5か年加速化対策完了後も、引き続き県土強靱化に取り組んでいく必要があります。

- 5か年加速化対策前の対策状況(令和3年3月31日時点)
- 現時点(令和5年3月31日時点)の対策状況
- 5か年加速化対策終了時点(令和8年3月31日時点)の状況(予定)
- 5か年加速化対策終了後に必要となる対策

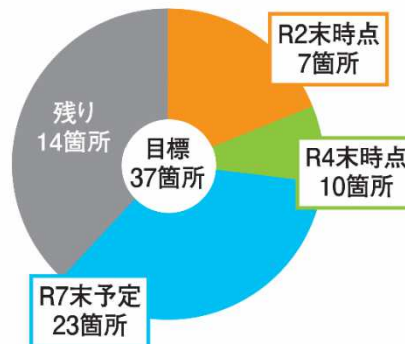
整備計画策定済河川の整備延長



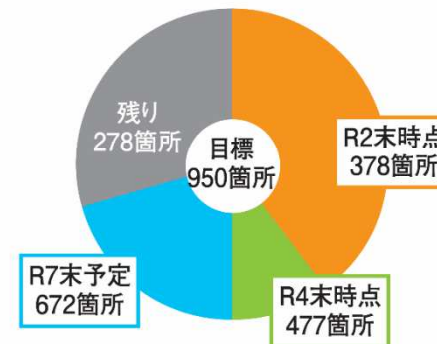
土砂災害警戒区域内における家屋保全率



海岸施設・港湾施設の長寿命化対策実施箇所数



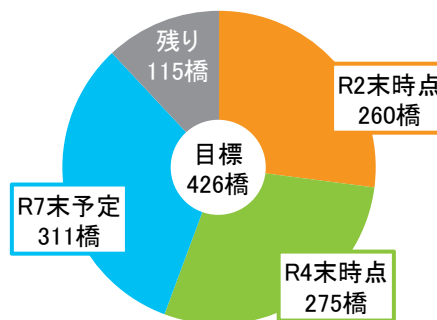
流域下水道におけるマンホール耐震化の実施箇所数



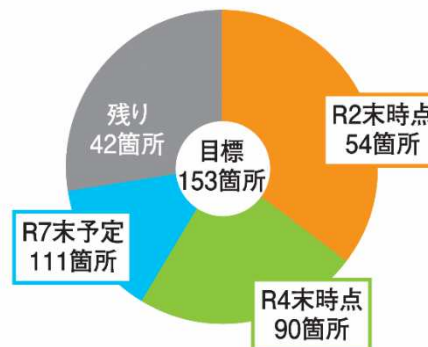
山形県無電柱化推進計画に基づく無電柱化実施延長



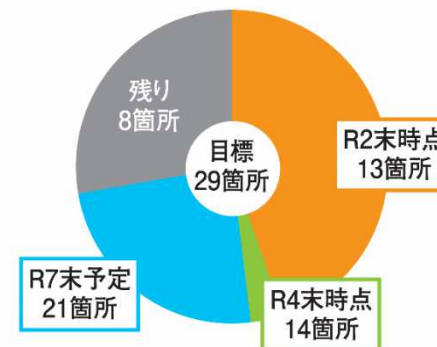
山形県道路橋耐震補強計画に基づく耐震補強実施橋梁数



災害に強い道づくりに必要な落石・崩壊防止対策実施箇所数



雪に強い道づくりに必要な雪崩予防対策実施箇所数



取組事例・整備効果

河川関係

- ・ 広域河川改修事業（河川改修、調節池整備等）【大旦川（村山市）】
- ・ 広域河川改修事業（河川改修等）【馬見ヶ崎川（山形市）】

砂防関係

- ・ 土砂災害対策事業（砂防えん堤）【中田（鶴岡市）】

道路関係

- ・ 道路改築事業（地域活性化IC）【（一）村山大石田線：村山北IC（村山市）】
- ・ 道路施設長寿命化対策事業（老朽橋架替）【（主）真室川鮭川線：栗谷沢橋（真室川町）】
- ・ 街路整備事業（道路拡幅、無電柱化）【（都）豊里十里塚線（酒田市）】

下水道関係

- ・ 流域下水道事業〈耐震対策〉【山形浄化センター】

港湾関係

- ・ 港湾海岸保全対策事業（防潮堤整備）【加茂港（鶴岡市）】
- ・ 港湾海岸保全対策事業（護岸補修）【酒田港（酒田市）】

概要：大旦川は、流路延長9.6km、流域面積57.7km²の最上川へ注ぐ一級河川である。下流域は最上川の旧河道及び氾濫原となっていた低地であり、度々浸水被害が発生している。このため昭和61年度から河川改修事業に着手し、大旦川及び支川並びに調節池の整備を進め、治水安全度の向上を図るものである。

- 河川名：一級河川最上川水系大旦川
- 場所：山形県村山市
- 事業概要：河川改修 L=9,190m（支川含む）、調節池整備 1箇所（A=23ha）、橋梁架替、樋門工等



令和5年6月28日の大雨時の調節池の貯留状況
(令和5年6月29日撮影)

＜事業の効果＞

5か年加速化対策等の活用により集中的に投資することで、暫定調節池の工事期間を短縮し、令和5年6月に運用を開始することで、早期の治水効果発現が可能となった。また、令和5年6月の大雨では、調節池の機能が発揮され、内水被害の軽減に寄与した。

概要：馬見ヶ崎川は、流路延長22.3km、流域面積145.4km²の須川へ注ぐ一級河川である。馬見ヶ崎川沿川では、流下能力不足により、度々浸水被害が発生している。
このため昭和58年度から河川改修事業に着手し、馬見ヶ崎川及び支川の整備を進め、治水安全度の向上を図るものである。

- 河川名：一級河川最上川水系馬見ヶ崎川
- 場所：山形県山形市
- 事業概要：河川改修 L=7,442m（支川含む）、橋梁架替、樋門工等

整備前



整備後



<事業の効果>

3か年緊急対策、5か年加速化対策の活用により、早期の治水効果発現が可能となった。

概要：本事業は土石流危険渓流である中田において、流域内で荒廃が進み、豪雨に伴う土石流が発生すれば下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがあり、砂防えん堤を整備するものである。

- 実施場所：鶴岡市油戸 地内
- 事業概要：砂防えん堤 2基

保全対象：人家45戸、耕地0.21ha、県道、市道(津波避難路)、公民館

荒廃状況



保全対象



公民館(災害時要援護者施設:一般)

油戸漁港および保全対象人家

完成状況



保全対象

土砂災害警戒区域

2号えん堤

至
1号えん堤
(H25完)

<事業の効果>

3か年緊急対策、5か年加速化対策の活用により、事業期間を短縮することができた。(完成年度：R6→R3)

人家45戸等の保全対象における土砂災害を未然に防ぐ効果を発揮します。

2号えん堤

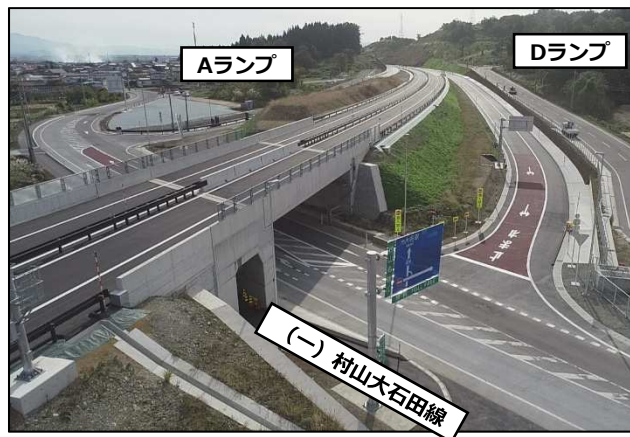
1号えん堤



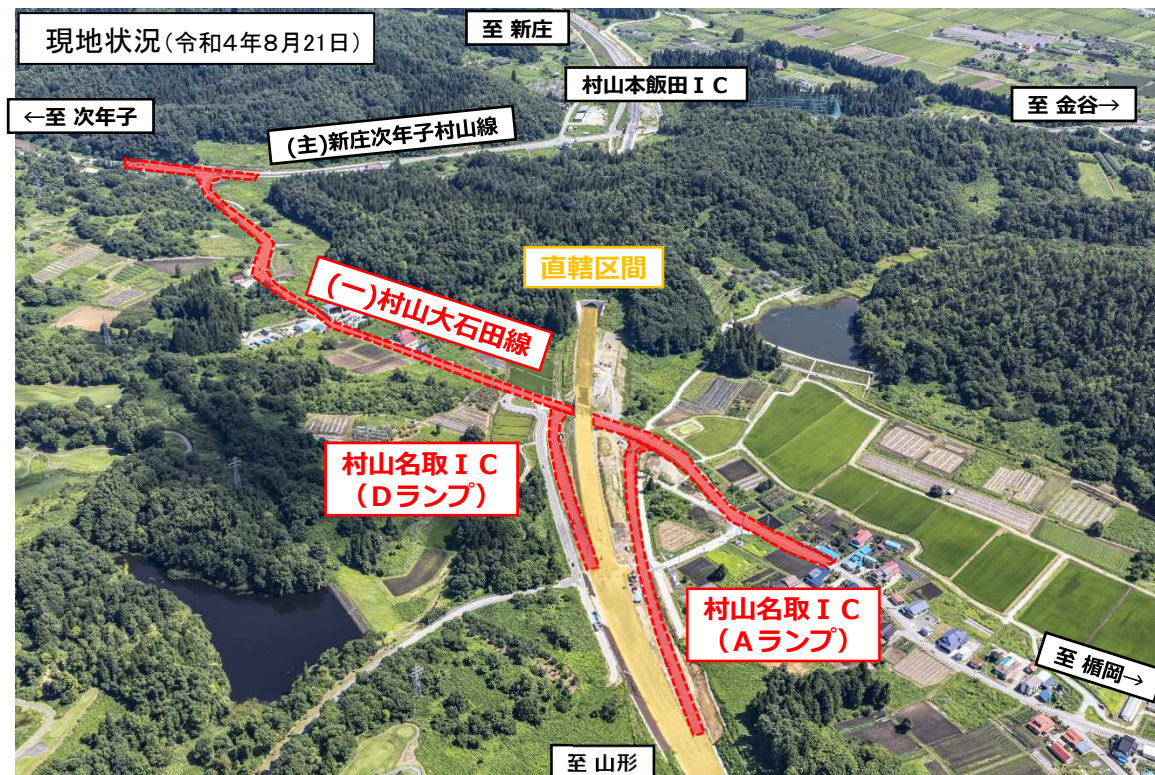
概要：本事業は、東北中央自動車道に接続する、新たな地域活性化インターチェンジを整備する事業である。

- 実施場所：村山市大字名取地内
- 事業概要：道路改良 L=1,200m、W=6.0(8.5)[11.0]m

村山名取IC→



←(主)新庄次年子村山線との
交差部



＜事業の効果＞

5か年加速化対策の活用により、事業期間を短縮することができた。
(完了年度：R6→R4)

本事業により、地域の物流の円滑化や道路交通の安全性の向上、地域経済の活性化などの効果が期待される。

概要：本事業は、老朽化が進んでいる栗谷沢橋（昭和34年竣工）の架替えを行う事業である。

- 実施場所：真室川町大字川ノ内地内
- 事業概要：道路改良 L=1,570m、W=6.0(8.5)[11.0]m

狭隘箇所 →



↓ 狭隘箇所



現地状況



(令和3年9月撮影)

↓至 真室川町新町

＜事業の効果＞

3か年緊急対策及び5か年加速化対策の活用により、栗矢沢橋架替の事業期間を短縮することができた。（完了年度：R6→R4）
本事業により、橋梁の安全性の向上や交通の円滑化が図られるとともに、旧栗谷沢橋の重量規制が解消され、さらに、2次緊急輸送道路としての機能が強化される。

概要：(都)豊里十里塚線は、山形県酒田市の中心市街地と酒田市南部地区を接続する重要な路線であるが、整備前の道路幅員は狭く、交通安全の確保や渋滞の緩和が課題となっていたことから、道路拡幅（4車線化）により、交通安全の確保や渋滞の緩和を図る事業である。

- 実施場所：山形県酒田市
- 事業概要：(都)豊里十里塚線の道路拡幅（4車線化）、無電柱化
延長：L=708m 幅員：W=33m
- 事業期間：平成9年度～令和4年度

対策前



対策後



＜事業の効果＞

3か年緊急対策の活用により、事業期間の短縮が図られた。
(完了年度：R5→R4)

交通安全の確保や渋滞の緩和のほか、地域間交流の促進などのストック効果の発現が期待される。

概要：本県流域下水道は、昭和50年代から平成初期にかけて整備した施設であり、耐震性能を満足していない施設について、下水道総合地震対策計画に基づき、耐震化を推進している。
耐震化にあたっては、老朽化対策と同時に実施する必要がある、財源確保が課題となっていた。

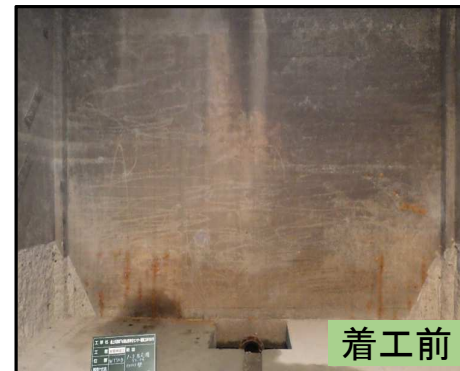
- 実施場所： 山形県天童市
- 事業概要：
下水道処理設備の地震対策
(山形浄化センターエアレーションタンク耐震化)

注)エアレーションタンク
微生物により、汚水から有機物などの汚れを排除するための設備。

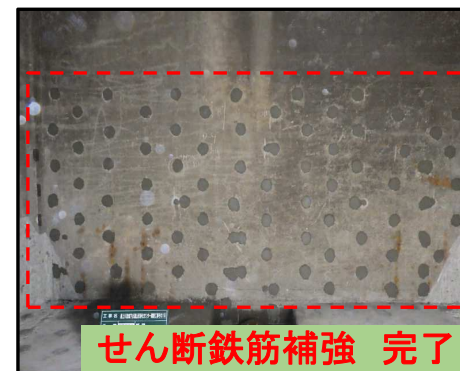
<事業の効果>

5か年加速化対策の活用により、下水道総合地震対策計画(R2~6)期間内において、早期に完了した。(R3完了)

対策前



対策後

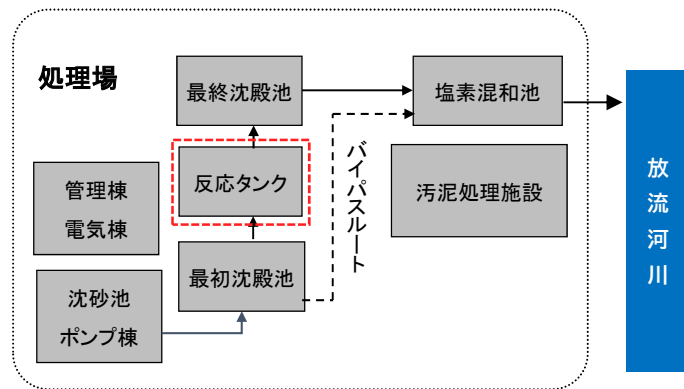


概要：本県流域下水道は、昭和50年代から平成初期にかけて整備した施設であり、耐震性能を満足していない施設について、下水道総合地震対策計画に基づき、耐震化を推進している。
耐震化にあたっては、老朽化対策と同時に実施する必要がある、財源確保が課題となっていた。

■ 実施場所： 山形県天童市

■ 事業概要：

下水道処理設備の地震対策
(山形浄化センター反応タンク耐震化)



対策前



対策後



＜事業の効果＞

5か年加速化対策の活用により、下水道総合地震対策計画（R2～6）期間内において、早期に完了した。（R3完了）

概要：将来、山形県日本海沖巨大地震等で発生が想定されるL1津波高さに対し、現況高さが低い区間において防潮堤を整備する。

- 実施場所：山形県鶴岡市
- 事業概要：加茂港海岸防潮堤整備 延長L = 375m



整備前



整備後



<事業の効果>

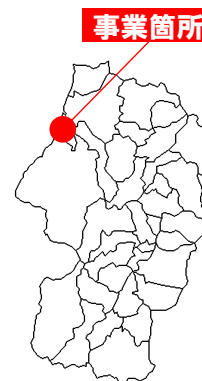
防潮堤が完成したことで、L1津波に対する安全性が確保された。

L1津波：発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（数十年から百数十年の頻度）



概要：老朽化により防護機能が低下している海岸保全施設を補修補強する。

- 実施場所：山形県酒田市
- 事業概要：酒田港海岸西護岸補修
延長L = 182m
- 効果：護岸補修（胸壁増厚工）および長寿命化対策（矢板への電気防食工）を実施する事業であり、護岸補修すべておよび長寿命化対策の一部を5か年加速化対策により実施。



<事業の効果>

防護機能が低下している海岸保全施設が補強された。

